

わたしたちの町と成田空港 Vol.4

成田空港の更なる機能強化により、これまで以上に町と成田空港との関係が密接となることから、成田国際空港㈱から交付される「成田国際空港周辺対策交付金」が、どのように使われているのかなどを、シリーズでお伝えします。 **問**企画空港課空港班 **☎**84-1279

今回は、成田国際空港周辺対策交付金を活用した航空機騒音測定事業の概要をお伝えします。

航空機騒音測定事業

町では、成田空港を離着陸する航空機の騒音の実態把握と環境基準を超えていないかを確認することを目的として、航空機の飛行ルートを踏まえ、毎年2回(夏季・冬季)航空機騒音測定を行っています。測定期間は1週間程度で、集会所や共同利用施設など町内30か所(※)に機材を設置し、測定しています。測定結果については、町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

※令和2年度調査箇所：11か所(新型コロナウイルス感染拡大による運航便減少のため)

また、町が実施している騒音測定のほかに、成田国際空港㈱が旧大総小学校など4か所、千葉県が長倉共同利用施設など4か所に騒音測定局を設置し、日々飛行する航空機の騒音を常時測定しています。なお、成田国際空港㈱では、「成田空港環境こみゆにていホームページ」で航空機の飛行ルートや騒音値などを公表しており、千葉県では「千葉県ホームページ」で成田空港周辺の航空機騒音測定結果を公表しています。

町は成田空港を離着陸する航空機の飛行ルート下であることから、今後も、航空機騒音の実態把握に努めてまいります。



▲町短期測定 南部一集会所



▲騒音測定局(常時監視局) 上堺小学校屋上

横芝光町は、これまでこれからも安全・安心なまちづくりを推進するため、住環境の保全をはじめとした環境対策に努めるとともに、成田空港との共生共栄を図り、町の活性化に取り組んでまいります。

次号は、成田国際空港㈱から町へ交付されている成田国際空港周辺対策交付金の枠組みなどをお伝えします。